

振替貯金にて御拂込のせつは手数料金壹錢を加へられたし

(後付の四)

日本水彩畫會廣告

本會研究所は 東京市小石川區小日向水道端町二丁目十六番地 (服部坂下通り、電車江戸川線水道町停留場より二丁) にあり、毎日午前、夜、毎週日曜日終日、授業すべし、講師は河合新藏、岡精一、永地秀太、眞野紀太郎、磯部忠一、丸山晚霞、大下藤次郎諸氏なり

安中支部は群馬縣安中町根岸方にて毎月一回授業すべし、講師は横濱支部は横濱市英町二ノ十四高島方を事務所とし、毎月一回大下藤次郎氏出張授業すべし

長野支部は長野市師範學校内にあり、毎月一回研究會を開き、年數回講師出張指導すべし

飯山支部は長野縣飯山町森本香谷方にて毎月研究會を開き、年數回講師の出張あるべし

關西支部は滋賀縣膳所中の庄藤田紫舟方を事務所とし、京都に於て毎月研究會を開く

日本水彩畫會には地方講習生の設けあり、丸山晚霞氏主として通信授業をなす(當分休止)

日本水彩畫會々友は作品の批評を受くるのほか幾多の便利と利益とあり、大下藤次郎氏主として其事にあたる

研究所規定及會友規定御入用の方は往復ハガキにて申出らるべし但返信用の方へ宛名を記すべからず

以上

本誌規定

發行日 毎月一回 三日

定價 一冊送料共金二十五錢、三冊金七十錢、六冊金一圓三十錢、十二冊金二圓五十錢、見本一冊郵券にて金二拾錢但號數の指定に應ぜず

會友 一時に金拾五圓以上を拂込むものには本會々友として日本水彩畫會々友と同一の待遇を與へ永久本誌の無料配布を受くる事を得

送金 前金のほか一切送本せず○前金切の時は包紙に注意すべし○代金拂込は振替貯金を望む○本會振替貯金口座番號東京六九六三番○郵便爲替拂渡局は必ず東京小石川小日向水道町郵便局○郵券代用は一冊二十七錢の割

注意 代金の受取證を要するものは返信料を送れ○住所姓名を明記されたし○注文の際は第何號よりと明記されたし○問合せは必ず往復ハガキ

廣告料 一頁金五圓○半頁金三圓○切前月十日

明治三十八年六月二十八日 内務省許可
 明治四十四年 八月廿五日 印刷納本
 明治四十四年 九月三日 發行

(第七十九)



編輯兼發行人

東京市小石川區關口駒井町三番地

大下藤次郎

印刷者

東京市牛込區市ヶ谷加賀町二丁目十二番地

藤本兼吉

印刷所

東京市牛込區市ヶ谷加賀町二丁目十二番地

株式會社 秀英舍 第一工場

發行所

東京市小石川區關口駒井町三番地

春鳥會

大賣捌所

東京市神田區表神保町

東京堂